

科目名称：	こども特演Ⅲ（大学：幼児体育）	
担当者名：	松下高信	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
保育内容を理解し、ボール・縄遊び・マット・平均台・跳び箱・リング等の教材遊具を用いてその特性や活用方法を学ぶ。子どもの経験や様々な表現活動と身体表現とを結びつけ、子どもの発達に即した遊びの展開に関する知識と技術を身につける。また、遊具の安全管理方法についても学ぶ。		
授業の達成目標・到達目標		
各運動遊びの基礎的知識を学び、保育者として必要な安全性最優先の環境整備と指導方法を習得して、幼児に身体を動かす事の楽しさや、友達、保育者と共にあそぶ楽しさを伝えられるようにする。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)				100	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 幼児体育協会公認指導員	《経験年数1》 20年
	《内容2》 幼児体育教室	《経験年数2》 12年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
各運動遊びの基礎的知識	保育内容を理解し、各種運動遊びの特性を他者に説明できる。	保育内容を理解し、各種運動遊びの特性も理解している。	保育内容を理解し、各種運動遊びの特性がおおむねわかっている。	各種運動遊びの特性がわかっていない。
安全性最優先の環境整備・指導方法	安全性最優先の環境整備・指導方法を完全に習得している。	安全性最優先の環境整備・指導方法を習得している。	安全性最優先の環境整備・指導方法をおおむね習得している。	安全性最優先の環境整備・指導方法がわかっていない。
運動遊びの楽しさの伝達	幼児に身体を動かす事の楽しさを伝えることができる。	幼児に身体を動かす事の楽しさをおおむね伝えることができる。	幼児に身体を動かす事の楽しさをなんとか伝えることができる。	幼児に身体を動かす事の楽しさを伝えることができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 幼児の身体運動に関する基本的な知識	幼児の健康と運動あそびの基礎的知識	45分
第2回 運動あそびにおける安全管理	前回授業の復習	45分
第3回 マットを使った運動あそび(1) マット運動の基礎知識	マット運動の基礎的知識	45分
第4回 マットを使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第5回 ボールを使った運動あそび(1) ボール運動の基礎知識	ボール運動の基礎的知識	45分
第6回 ボールを使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第7回 短縄を使った運動あそび(1) 短縄運動の基礎知識	短縄運動の基礎的知識	45分
第8回 短縄を使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第9回 平均台を使った運動あそび(1) 平均台運動の基礎知識	平均台運動の基礎的知識	45分
第10回 平均台を使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第11回 跳び箱を使った運動あそび(1) 跳び箱運動の基礎知識	風船を使った運動の基礎的知識	45分
第12回 跳び箱を使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第13回 リングを使った運動あそび(1) リング運動の基礎知識	棒を使った運動の基礎的知識	45分
第14回 リングを使った運動あそび(2) 実践と評価	前回授業の復習	45分
第15回 まとめ(ディスカッションを含む)	これまでの授業の復習	45分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、各種運動あそびの基礎的知識を深めてまとめておくこと。</p>		
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与(50%)、コミュニケーション能力(30%)、運動技能(20%)を100点満点の減点法で評価する。第1回授業にて詳細を説明する。</p>		
<p>課題に対するフィードバック</p> <p>課題とした運動技能が到達目標に達しない場合は補習を行う。</p>		
<p>教科書・参考書</p> <p>教科書は指定しない。授業時に資料「子どもの健康と運動あそび」を配付する。</p>		